ACT（がん医療の今を共有する会）特別企画
（医学生向けセミナー）「君が広げる日本の放射線治療の輪！」

2026 年 11 月 14 日（土） 10:10-11:40　第 2 会場 | 幕張メッセ 国際会議場 2F 国際会議室

座長：大西 洋（山梨大学医学部 放射線治療学講座）

ACT-3
AI 時代の放射線治療



中村 聡明 [1]

1:関西医科大学 放射線治療科

放射線治療は、 ICT の進歩によって大きく発展してきた。さらに AI の導入により、画像処理や治療計画の効率化が進み、放射線治療医の役割も変わろうとしている。

放射線治療医は、あらゆる臓器のがんを対象とし、外科、腫瘍内科、画像診断、病理診断など多くの専門領域をつなぐ存在である。 AI によって生まれる時間を患者との対話や多職種での治療選択に生かすことで、がん医療全体を動かす役割を担うことができる。

本講演では、キャンサーボードや Weekly Oncology Webinar の実践を紹介しながら、 AI 時代に広がる放射線治療の可能性と、その中心で活躍する放射線治療医の未来を伝えたい。医学生の皆さんに、放射線治療を将来の進路として考えてもらうきっかけとしたい。

略歴

1996 年 神戸大学医学部医学科 卒業
1996 年 大阪大学医学部附属病院 研修医
2002 年 大阪大学大学院医学系研究科 修了・医学博士
2002 年 シカゴ大学 放射線腫瘍科 博士研究員
2005 年 大阪大学大学院医学系研究科 助手
2007 年 大阪府立成人病センター放射線治療科　診療主任
2012 年 京都府立医科大学特任講師
2015 年 関西医科大学 講師
2016 年 同 准教授
2023 年 同 診療教授　現在に至る

所属学会
米国放射線腫瘍学会
欧州放射線腫瘍学会
日本頭頸部癌学会
日本膵臓学会

受賞歴
2006 年 米国放射線腫瘍学会 Top 10 Most Viewed Abstracts
2010 年 欧州放射線腫瘍学会 Best Poster Award
2022 年 日本放射線腫瘍学会 地域貢献賞
2024 年 日本放射線腫瘍学会 Plenary Session 選出
2026 年 高精度放射線外部照射部会 最優秀賞

▲ TOP

2026 年 欧州放射線腫瘍学会 Top-Scoring Abstract

▲ TOP